

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
佐野学 II Sanogaku II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(なし)	ボランティアや地域貢献に関心を有していること。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
佐野学 I				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
茶道				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
川副令	講義棟2階	初回授業で発表する		授業中に指示します
授業の概要				
「佐野で学ぶ、佐野を楽しむ」をテーマにした授業です。本学文化祭でのポスター展示、佐野学クイズ等の企画にグループで取り組みます。江戸時代から続く伝統ある鑄造所を訪れて、佐野市の伝統工芸である天明鑄物作製を体験します。佐野日本大学短期大学が主催する佐野学市民講座、佐野学クイズ等と連動した授業です。				
授業の目標				
(1) まちづくりへの関与がキャリアの要素(重要な部分)であることを説明することができるようにする。(2) 短期大学生としての2年間を過ごす佐野の町の成り立ち、魅力と特徴、まちづくりの課題について、自分なりの意見を述べるができるようにする。(3) 伝統工芸の奥深さ、文化の背後にある先人の努力と工夫の蓄積の偉大さを、具体例(天明鑄物)を通じて説明することができるようにする。				
授業の方法				
地域貢献活動の一環として、本学大学祭において佐野の魅力伝えるポスター展示、佐野学クイズ等の企画にグループで取り組む。また江戸時代から続く伝統ある鑄造所を訪れて、佐野市の伝統工芸である天明鑄物の作製を体験する。				
学習の成果(学習成果)				
(1) まちづくりへの関与がキャリアの要素(重要な部分)であることを説明することができる。 (2) 佐野の町の成り立ち、魅力と特徴、まちづくりの課題について、自分なりの意見を述べるができる。 (3) 伝統工芸の奥深さ、文化の背後にある先人の努力と工夫の蓄積の偉大さを具体例を通じて説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(佐野学とは何か、授業計画、成績評価等についての説明)、グループ分けと役割分担			
第2回目	佐野学市民講座に学ぶ佐野の歴史と文化			
第3回目	佐野学クイズに挑戦しよう!			
第4回目	佐野学ポスター展示・クイズ企画の準備(1)			
第5回目	佐野学ポスター展示・クイズ企画の準備(2)			
第6回目	【変則日程】佐野学ポスター展示・クイズ企画への参加			

第7回目	【変則日程】佐野学ポスター展示・クイズ企画への参加
第8回目	天明鋳物について、天命鋳物作製体験（1）
第9回目	天明鋳物作製体験（2） ※外部講師招聘予定
第10回目	【変則日程】天明鋳物作製体験（3）、学外（若林鋳造所） ※外部講師依頼予定
第11回目	【変則日程】天明鋳物作製体験（4）、学外（同上） ※外部講師依頼予定
第12回目	【変則日程】天明鋳物作製体験（5）、学外（同上） ※外部講師依頼予定
第13回目	ディスカッション：佐野の町づくりに天明鋳物を活かす方法 ※外部講師招聘予定
第14回目	写真レポート発表：天明鋳物作製を体験して
第15回目	総括
事前・事後学習	事前学習：予習資料に目を通すこと。事後学習：レポート作成等の課題をこなすこと。

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	60%	授業出席状況（10%）のほか、佐野学ポスター展示・クイズ企画への貢献（20%）、天明鋳物作成体験への取り組み（30%）等を総合的に評価する。
レポート	30%	天命鋳物作製体験と出来上がった作品に関する解説と感想を写真レポート（パワーポイントのスライド）にまとめる。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	10%	上記レポートの発表を行う。
その他		

教科書と参考図書

教科書は使用しない。参考書は初回講義で説明する。

履修上の留意点・ルール

グループ活動に積極的に参加すること。天明鋳物作製体験の都合上、履修者を最大20名程度とする。（履修者希望が多すぎる場合はくじ引きを行う。）また、天明鋳物作製に際して材料費（鋳型に使う石膏や溶かす金属など）として2000円を要する。